

# ジョイフル城北 スマイル城北



令和6年度 学校だより

ジョイスマ

令和6年12月9日

熊本市立城北小学校

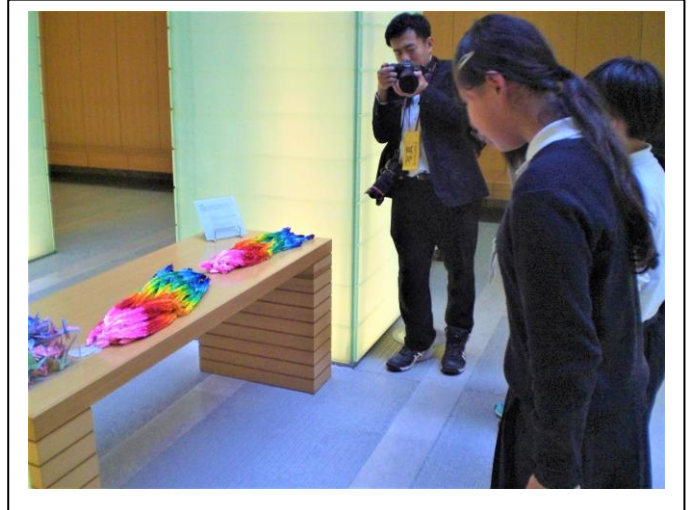
校長

## よく学び、よく遊べ ～6年生修学旅行、長崎の地に学ぶ～

城北小の6年生は12月3日～4日の一泊二日で長崎に修学旅行に行ってきました。

出発式で私が6年生に話したことが2つあります。一つめは、「百聞は一見に如かず」です。二つめは、「よく学び、よく遊べ」です。

まず、「百聞は一見に如かず」です。これまで6年生は事前学習で戦争のこと、長崎のことを歴史や文化の視点などで学習してきました。その中でも特に被爆地としての長崎、平和学習の地としての長崎の学びに力を入れてきました。しかし、これはバーチャル、疑似体験の世界です。実際に班で爆心地をフィールドワークしたり、被爆者の方の話を直接聞いたりすることで、子どもたちが五感を通して感じたり考えたりして、学びが本物の自分の学びになったと思います。例年になかったことは、平和集会を追悼空間（原爆殉難者名奉安所）で行ったことです。ここはこれまでに原爆の被害で亡くなられた方々の原爆死没者名簿が収められている場所です。たくさんの人たちがいる平和公園で行う平和集会とは違い、静かな中で城北小6年生だけで行う平和集会はとても厳粛で厳かでした。そして、会の中で心を込めて作った千羽鶴を捧げました。（写真上）



次に「よく学び、よく遊べ」です。長崎は「わからん文化」といわれます。漢字で書くと「和華蘭文化」です。「和」はもちろん日本としての長崎です。「華」は長く外国との玄関口として発展してきた港町長崎です。特に中国とのつながりです。

「蘭」はオランダ船来航以降のオランダ文化とのつながりです。子どもたちは「なぜ長崎にハウステンボスがあるのか。」という疑問が、歴史とつながり「なぜの答え」が分かったと思います。ハウステンボスでは、オランダの文化を感じながら友達との交流を深め、楽しい思い出を作る日になりました。例年ハウステンボスは修学旅行やインバウンドでごった返してしていました。アトラクションは長い列が続き、アトラクションができるまで相当な時間がかかりました。しかし、この日のハ



ウステンボスは閑散としていて、アトラクションはやりたいことが思いのままできました。子どもたちは「よく学び、よく遊べ」がしっかりと実践できた修学旅行でした。